

第 25 回 橋に関するシンポジウム



「鋼橋のビッグプロジェクト ～最新の建設・維持管理技術～」

土木学会鋼構造委員会では、委員会活動の紹介、最新情報の発信、研究者・技術者の交流などを目的として、1998 年より「鋼構造と橋に関するシンポジウム」、2020 年から「橋に関するシンポジウム」を企画し、主に鋼構造物に着目した設計・施工・維持管理・点検・診断技術や新材料・新技術などの最新動向について話題提供を行ってきました。過去の参加者アンケートでは、今後のテーマとして維持管理技術や補修・補強事例、新材料・新技術分野のニーズが常に高く、最近では設計・施工技術への関心も高まっています。

その社会的背景として、土木施設の新設から維持管理へのシフト化が挙げられ、高度経済成長期に建設された既設構造物の大規模更新・修繕事業、地域の活性化・再開発に伴う改築・改良事業や新しいインフラ整備事業など、それらの投資は益々拡大しています。また、我が国で頻発する大規模自然災害からの復旧・復興や、防災・減災のための国土強靱化などと合わせて、多くの大型建設事業の取組みが進んでいます。

そこで、今回の橋に関するシンポジウムでは、参加者のニーズが高い技術分野であり、次世代を担う技術者に土木・建設事業への夢や希望などの魅力も伝えたいと考え、このような最新の「ビッグプロジェクト」に着目し、事業の特性や高度な技術、工夫などについて報告いただくことを企画しました。

行事コード：252201 略称：25 回橋シンポジウム

1. 主 催：土木学会（担当：鋼構造委員会）

後 援：日本鉄鋼連盟、日本橋梁建設協会、鋼橋技術研究会、建設コンサルタンツ協会、
中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社（予定）

2. 日 時：2022 年 8 月 4 日（木）11:00～16:50

（会場参加の場合 受付開始 10:00 受付終了 16:00）

場 所：法政大学 市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート 4 階 G403 教室

（東京都千代田区富士見 2 丁目 17-1）

および、オンライン開催（Zoom ウェビナーによる配信予定）

注）コロナ感染対策の関係から状況に応じて、会場開催を取止め、オンライン開催のみとなる場合があります。

3. 定 員：会場参加200名（申込先着順） オンライン（Zoom）参加250名（申込先着順）
※オンラインのみでの開催となった場合、会場参加希望の方についてもオンラインでの参加とさせていただきます。

4. 参加費：会員5,000円、非会員6,000円、学生 無料

5. 申込み締切日：2022年7月27日（水）

6. 申込方法：

①会場参加希望の場合

土木学会ホームページからお申し込みください。

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)

申込内容を確認後、「請求書」を郵送いたします。紙の参加券は郵送いたしませんので、当日は受付でお名前をお申し出ください。

※申込みに関してのお願い

- (1) 参加費は原則事前振込とさせていただきます。 なお、所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。
※締切日に近い申込ですと開催日までに請求書送付が間に合わない場合がございますが、その際は開催後にお振込みください。
- (2) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。
- (3) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記の「問合せ」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

②オンライン（Zoom）参加希望の場合

土木学会ホームページ内からお申し込み下さい。

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>)

申込内容を確認後、「請求書」を郵送いたします。参加用のURL等は開催日前日にメールにて連絡予定です。

※申込みに関してのお願い

- (1) 参加費は原則事前振込とさせていただきます。 なお、所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。

※締切日に近い申込ですと開催日までに請求書送付が間に合わない場合がございますが、その際は開催後にお振込みください。

- (2) 締切日以降の受付はいたしません。
- (3) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記の「問合せ先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

7. 問合せ先：土木学会研究事業課 桃井

MAIL momoi “at” jsce.or.jp (“at” を@に変更して下さい)

8. プログラム

- (1) 開会の挨拶 (11:00～11:05) 鋼構造委員会 委員長
- (2) 委員会活動報告 (11:05～11:15) 鋼構造委員会 幹事長

【小委員会報告】

- (3) 高力ボルト摩擦接合の設計およびそれを用いた鋼部材の補修・補強に関する

調査研究小委員会成果報告

大阪公立大学 教授 山口 隆司 様

(11:15～12:00)

～～～ 昼 休 憩 (12:00～13:00) ～～～

【話題提供】

- (4) 震災復興のシンボル 気仙沼湾横断橋（愛称：かなえおおはし）の建設

J F E エンジニアリング株式会社 社会インフラ本部 橋梁事業部 技術部 技術室
中野 隆 様

(13:00～13:30)

- (5) 多摩川スカイブリッジの設計と施工

～豊かな自然環境に最大限配慮し、維持管理性と景観性を両立させた国内最大の複合ラーメン橋～

川崎市 まちづくり局交通施策室 本田 卓士 様

(13:30～14:00)

(6) 国内最大級の支間長を有する鋼床版箱桁橋（新町川橋）の設計・製作・施工

川田工業株式会社 橋梁事業部 大阪技術部 大阪技術課 水野 浩 様

(14:00～14:30)

(7) JR 渋谷駅改良における鋼構造の活躍

東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター 鋼構造グループ 山口 慎 様

(14:30～15:00)

～～～ 休 憩 (15:00～15:15) ～～～

(8) 鋼方杖ラーメン橋の耐震補強（横浜横須賀道路 田浦第二高架橋）

東日本高速道路株式会社 関東支社 建設事業部 構造技術課 平野 勝彦 様

(15:15～15:45)

(9) 縦目地構造解消を目的とした大阪都心部における鋼桁大規模修繕工事の概要

阪神高速道路株式会社 管理本部 大阪保全部 改築・更新事業課 杉村 泰一郎 様

(15:45～16:15)

(10) 首都高速道路における大規模更新・修繕事業の取り組み

首都高速道路株式会社 更新・建設局 事業管理課 鈴木 誠 様

(16:15～16:45)

(11) 閉会の挨拶

鋼構造委員会 副委員長

(16:45～16:50)

以 上